

オーレ田刀で努力を



研修会で岩場の通過の仕方を学ぶ賞 (三重県熊野市)

「オーレ田刀で努力を」と題された企画で、田刀での攀岩技術を学ぶ研修会が開催された。主催は三重県立三重県立総合防災センターで、参加者は約30人。講師は、元プロガイドの田中さん。田中さんは、田刀での攀岩技術を教えるだけでなく、安全な登山のための知識や、登山の歴史などを語った。また、田刀での攀岩技術を実演する場面もあり、参加者は興味津々で見入っていた。

熊野地方では熊野古道の語り部など、ガイド料が有償であつても過激した年記者や主婦などボランティア的に活動する人が多く、生業となってい

るといいのが現状。「若者の定着につなげるために、ガイドが生業として成り立つ環境づくりをしなければいけない」など、カヌーや登山などを主とする森田さん(38)=三重県尾鷲市=が、ガイド仲間に呼び掛けた。

協 熊野で 環境整え、新人養成も

「プロガイド知つて」

ネジメント(安全管理)に主

題を置いたレベルアップの必

要性も強調する

今後、プロガ

イドを育

むため、新人の

山や川、海を舞

トリアツアーコ

リスクマネジメ

ント講義や指

引講を実施す

る。ホームペー

ジ(0735-4

8-1111)へ。

アツアツの必

要性がある人

募っている。

「いまエクス

トアツアーコ

ン社のアツアツ

アツアツの必

要性もある人

募っている。

「いまエクス

トアツアーコ

トアツアーコ

1年の締めくくり 県内の学校で修了式

県内のほとんどの公立小中

学校や高校、特別支援学校で

修了式があり、卒業生を除く

24日修了式があり、1年を締

めくった。(6面に開催記

事)

田辺市船川小学校では体育

館で式があり、卒業生を除く

1~5年生が集まり修了式を

気よく出席。学年ごとに一人

ずつ名前が呼ばれ、代表児童

が岡山校長から修了証を

受け取った。

岡山校長は新年度から三川

小学校合併することに触れ、「4

月からは三川小学校の人たち

と一緒に新しい学校をつくるこ

とです。全員で立派な学校が4月8

日に開校します」と話す。

「これまでの学校生活を

振り返りながら、新しい一年

を頑張りたい」と児童たる

う意気込みが聞こえた。

岡山校長は新年度の

目標を「安全第一」とし、

児童の安全を守ることを

最優先課題に据え、児童

たちの成長をサポートす

る」と述べた。

岡山校長は新年度の

目標を「安全第一」とし、

児童の安全を守ることを

最優先課題に据え、児童

たちの成長をサポートす

る」と述べた。



プロガイド知つて

熊野で環境整え、新人養成も

方では熊野古道の語り、ガイド料が有償で、組織した年配者や主婦たちによるボランティア的活動が多く、生業となつていい」と、カヌーや登山などの環境づくりをしなければいけない」と思ふんだといふ。

いなのが現状。「若者の定義にはつけるためにも、ガイドが生業として成り立つ環境づくりをしなければいけない」と、カヌーや登山などの環境整備をめざす活動を始めた。プロガイドの資格を持ち、和歌山や三重、奈良3県の熊野地方を中心に活動する「熊野ガイド協会」を発足させた。プロガイドをもっと知つてもらいたい」と、カヌーや登山などの環境整備をめざす活動を始めた。

ウッドアツアーワークス（代表の上野勝美さん）（47）は、「木のエクスペリエンス」をテーマにした講演や指導もある。プロガイドを自ら指揮する「木のエクスペリエンス」（田辺市本宮町本宮）やシーカヤック、登山などのガイドをする森田博さん（38）（三重県尾鷲市）が、ガイド仲間に呼び掛けた。

集まつたのは2人のほか、大版や奈良を拠点に活動するガイドら計10人。国内外のカヌーやラフティング、登山、シユノーケリングなどのインストラクターやガイド資格を持つている。

会員は上野さん、副会長は森田さんが務める」のほか、母親が田辺市新屋敷町出身で、山や川のガイドをする橋本敏二さん（46）＝岳南県四日市市＝が理事になった。本部はくまのエクスペリエンスの事務所。

上野さんは「熊野の歴史文化はもちろんで、自然環境は世界的に価値がある。欧米に負けないガイドのプロを育てる」として、その価値をもっと高めることができる。ガイドは熊野地方の発展のために重要な存在」と話す。リスクマネジメント（安全部門）に主眼を置いていたベルアップの必

要性も強調する。

今後、プロガイドの必要性を訴え、新人の養成をする。山や川、海を舞台にした木のアツアーワークス（代表の上野勝美）（47）は、木のエクスペリエンス（田辺市本宮町本宮）やシーカヤック、登山などのガイドをする森田博さん（38）（三重県尾鷲市）が、ガイド仲間に呼び掛けた。



1年の締めくくり 県内の学校で修了式



県内のほとんどの公立小中

学校や高校、特別支援学校で24日修了式があり、1年を締めくくった。（5面に開催記事）

田辺市船川小学校では体育館式があり、卒業生を前にして15年生が集まり校歌を元気よく合唱。学生たるに一人ずつ名前が呼ばれ、代表兒童が西山茂樹校長から修了証を受け取った。

西山校長は新年度から三川小と統合することに触れ、「4月からは三川小学校の人たちと一緒にになって新しい学校をつくる」といいます。全員そろって元気よくスタートが切れる。

